

【参考資料】

マイケル・ノーベル博士について



[略歴]

1941年（昭和16年） ノーベル賞の創設者であるアルフレッド・ノーベルの曾甥としてスウェーデンに生まれる。

スイスに在住。ノーベル財団の理事長などを歴任し、現在はチューリッヒでノーベル・チャリタブル・トラスト財団会長を務めており、ノーベル賞関連の活動の他に、スウェーデン・サーブ社など

多くの企業にアドバイザーとして積極的に助言・提言を行っている。

－学歴

- 1963年（昭和38年） Harvard Business School, Boston, CoA
- 1967年（昭和42年） Graduate Institute of Communications, Stockholm
- 1979年（昭和54年） University of Lausanne, Lausanne, PhD, 1979
（ローザンヌ大学で博士号を取得）

－研究・業績

ローザンヌ大学で社会科学の研究者として社会研究所予防医学社会精神科で7年間勤務し、パリのユネスコ、ジュネーブの国連社会課のコンサルタントを務めた。

1980年（昭和55年）から26年間は、磁気共鳴イメージングの商業導入に参加し、当該分野のグループ企業会長を務めた経験がある。医薬分野、紛争解決等の分野で、大きな影響力を発揮しており、ユネスコ・メダル、大十字勲章など、数多くの受賞歴がある。

2005年（平成17年）には、生命科学技術分野での優れた業績に対し、アルバート・アインシュタイン賞が授与された。

近年では、再生可能エネルギー、二酸化炭素削減等人工光合成研究についても様々な活動を進めており、環境科学・エネルギー分野におけるノーベル賞設立にも尽力している。